

# 旧暦を知れば

## 事件・伝統行事が見えてくる

講師 やました としお  
山下 敏夫

昭和23年愛知県生まれ70歳。商社マン時代繊維業界に永く関わり、四季の到来時期が大事で、中国をはじめ近隣諸国との取引でも旧暦の必要性を強く感じた。現在は、「旧暦の会」の会員・「南太平洋協会」の会員で旧暦の知識を習得し、自らも勉強会を開催し普及に努めている。

内容 旧暦は明治5年以前まで使われていた暦で、正しくは太陰太陽暦です。月の満ち欠けを基準にした太陰暦を基にしています。しかし太陽暦とは1年で11日程度くるいが生じ、この季節のずれを調整するため二十四節気を取り入れたものです。

慶長19年(1614年)10月1日に起きた大坂の陣は旧暦冬の季節で大坂の冬の陣と言われ、翌年の旧暦夏にあたる4月6日に起きた陣は、大坂夏の陣と呼ばれます。

このような事件、伝統行事(七五三他)を旧暦と照らすと一層理解が深まります。

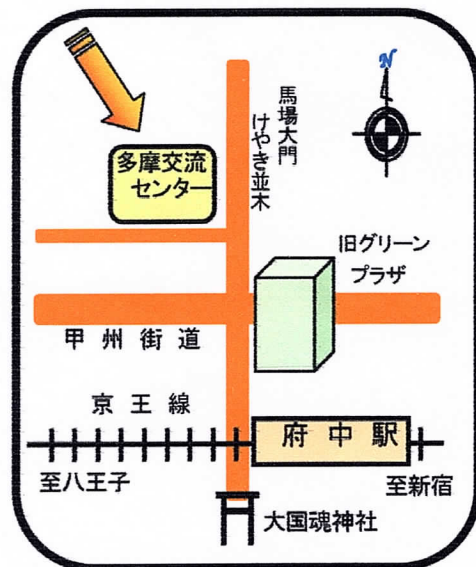
日時 平成30年10月21日(日) 午後2時～4時

場所 多摩交流センター会議室  
京王線府中駅北口 府中駅北第2庁舎6階  
(府中市寿町1-5-1)

申込 不要です(当日会場にお越し下さい)  
先着50名までとさせていただきます

受講料 無料です

問合せ 多摩交流センター内 TAMA市民塾  
Tel 042-335-0111



(駐車場はありません。ご注意下さい。)

『TAMA市民塾』の情報

多摩交流センター 検索 → 生涯学習 → TAMA市民塾